

第9回 新居浜市山田社宅保存活用検討委員会 会議録

日 時：平成30年5月28日（月）14：00～15：25

場 所：山田社宅（元 住友共同電力株式会社社宅）

出席者 委員 9人

欠席者 委員 1人

事務局 別子銅山文化遺産課 秦野課長、藤田主幹、濱岡副課長

傍聴者 2人

議題 1 山田社宅の活用について（西洋社宅等の活用方法）

2 その他

（事務局）

ただいまから、第9回新居浜市山田社宅保存活用検討委員会を開催します。

会議の開会前に、この会が公開で行われ議事録も公開されることについて皆様の御承諾をお願いします。また、本日、ハートネットワーク、愛媛新聞が傍聴に来られていることについて、お知らせいたします。

それでは河野委員長議事進行をお願いします。

（委員長）

それでは、議題に入る前に4月1日付けで、委員の委嘱換えがあり、前任の「曾我部みさ」委員が退任され、新居浜市教育委員会文化振興課長として、「桑原一郎」委員に就任いただいておりますので、ご報告いたします。本日の議題は、「山田社宅の活用について」ということで、これまで住友金属鉱山の別子事業所所長宅、住友化学愛媛工場長宅、西洋社宅の2棟を含め、駐車場、トイレなどについてご意見等をいただきましたが、まず、事務局から前回までの委員会の概要について説明をお願いします。

（事務局）

前回までの委員会の概要として、住友金属鉱山の別子事業所所長宅、住友化学の愛媛工場長宅については、基本、華美でないものが良さそうという意見が大半であり、「今のままで活かし、現状をできるだけ保存する方向で考えるということ、具体的には、住友金属鉱山別子事業所所長宅は、先人条例の顕彰対象者の展示で、住友化学愛媛工場長宅は、住友化学の前身を設立した鈴木馬左也や初代社長の吉田貞吉の展示などを行い、基本は家屋を大切にし、展示を多少加える程度での保存活用とする。」という方針、考え方で取りまとめられました。

次に、住友金属鉱山の西洋社宅東棟、西棟の2棟の活用方法等については、次のようなご意見、ご要望等がありました。

（施設整備関係）

・西洋社宅については、開放的なスペースとして、復元、復旧できるところは行い、昔

の姿を皆さんに見せたい。

・屋根瓦はすべて除けて新品にするのではなく、使えるものは使うという方向で考えていただきたい。

(施設活用関係)

- ・レトロでモダンな建物なので、結婚式・前撮りなどの場所として活用する。
- ・物産センターとして有効利用する。
- ・民間がカフェとして伝統的な建物をリノベーションしている事例を参考にし、ここを観光の拠点とする。
- ・星越エリアの案内をする人を養成し、そういう人たちの部屋も確保する必要がある。
- ・社宅全体の管理棟・管理室も必要では。
- ・当時の社宅の生活が分かるようなものも必要である。

(駐車場、トイレ、東屋など)

- ・駐車場予定の県道側の生垣は、ある程度残す必要がある。
- ・駐車場は、大型バスが駐車可能となるように。
- ・駐車場の外のトイレだけとなると、高齢の方が困るので、ある程度のトイレを設置する必要がある。
- ・駐車場、東屋、トイレ等は必要であるが、設置するにあたっては景観に配慮する必要がある。
- ・県道側は歩道を設ける必要があるのでは。

(全体の管理方法など)

- ・マイントピア別子、広瀬邸など一連の産業遺産巡りという観光ルートの一つにできれば良い。
- ・マイントピア別子にレンタサイクルがオープンするので、鉄道跡を繋いで、産業遺産コースとして考えてほしい。
- ・星越エリアもレンタサイクルの観光コースとして設定し、トラックで自転車を元に戻せば可能では。
- ・冬場の東平に行けない時期、こちらへ誘導することも必要では。

西洋社宅東棟、西棟の2棟の活用方法、駐車場、トイレ、東屋のほか全体の管理方法などについて皆様からいただいたご意見、ご要望の概要は以上です。

(委員長)

ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見を伺います。

(委員)

この街区の保存がどうなるのか。この辺り帯は昭和の社宅として全国有数な遺産であるので、どこか残しておきたい。何区画か残してほしい。この説明のあったエリア以外の街区の活用、保存はどうなるのか分からないが、更地になってしまっははどうしようもない。是非、その辺りも残してほしいと思います。

(事務局)

区画割りの保存については、住んでいた方、知っている方など希望要望は少なくない。過去にも調査時にそういった話も出ていたと思います。それは伝建地区の関係もございましたが、現在は伝建地区として残せないのだからこういう形で6棟保存ということで取り組んでいるところです。その街区・区画割りは、山田社宅保存活用計画策定委員会の中でも出ましたが、その区画割りを残しているだけでその価値が上がったということも全国的にはあると聞いています。ただ、住友の所有地で、公図上もモザイク状に住友金属鉦山、住友化学、住友林業が持たれている形となっており、希望としてそういう話もあるということは所有企業に伝えることはできますが、それぞれの区画の跡地利用についてグループがどのように考えているかだと思います。要望のあった件については住友の方にはお伝えします。

(委員長)

跡地利用については、少し早めに知らせてほしいと思います。東平地区の辻坂のところにある長屋のように復元されたものもある。新田社宅、梅林社宅、山根社宅等すべてなくなっているが、管理職、一般従業員の長屋など比較して見ることができれば良いと思っています。更地になる前に知らせていただきたい。

(事務局)

社宅を復元し並べて見るのは一番良く分かるが、設置場所、管理方法等難しい面がある。復元をジオラマ的なもので対応できないかという話も他の会合の中であったので、様子が見取れるようなジオラマなど展示で考えることも一つの方法と思っています。

(委員長)

一番良いのは復元で、それがダメならジオラマで、最低でも写真は展示してほしい。事実上は歴史として残しておいた方が良いでしょう。

次に、西洋社宅の活用、全体の管理方法等について、先ほど前回までの概要説明がありましたが、委員の皆様からいただいたご意見等を集約したものなどありましたら、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

皆様からいただいたご意見、ご要望等を社宅の図面に入れてみました。

まず、西洋社宅の東棟ですが、1階はこの山田社宅の資料館として活用し、ガイドの控室や休憩室としました。2階は星越・惣開エリアの資料館とし、その隣を研修室としております。

次に、西洋社宅の西棟ですが、1階は総合案内、売店、案内パネルとし、ガイドの控室としております。2階はカフェ、休憩室、ミーティングルームとしております。なお、和館については、傷みも激しいことから、山田社宅保存活用計画策定委員会の中で検討いただく予定です。

以上です。

(委員長)

ただいま、事務局から西洋社宅の活用、管理方法等について説明がありましたが、皆様のご質問、ご意見を伺います。

(委員)

カフェは、台所など水回りの工事が必要では。

(事務局)

ここで調理を行うのではなく、持ち込みによる簡易カフェを考えています。

(委員)

売店は、具体的にはどのようなものを販売するのか。

(事務局)

お土産等を想定しているが、詳細についてはこれからになります。山の拠点をマイントピア別子、ここを平野部の拠点として同じものを売る必要はないが、大型バス、サイクル基地、カフェを設置するのであれば、お土産的な売店もいるだろうという考えです。

(委員)

カフェは2階より1階の方が良い。庭と一体とし、オープンカフェとして天気の良い日は芝生広場も使えるので。資料の展示的なものは2階で良いのでは。

(事務局)

前に委員長からもありましたように、冬場に東平へ行けないときに、こちらへ案内誘導するということも含め、山間部と平野部へ案内できればと考えています。

(委員)

そうすると、委託するのは一体的な管理としてマイントピア別子が良いのでは。

(事務局)

マイントピア別子になるのかどうか分かりませんが、そういう手慣れたところでないといけません。連動性から言えば、管理方法としては合理性がある。

(委員)

端出場の水力発電所も一体的な管理となるのか。

(事務局)

一体管理になると思います。工事に数年かかりますが。

(委員)

東棟の芝生広場が結構綺麗な庭があるので、そこを取り込んでカフェなり、イベントが出来るのではないかと思います。本日も天気が良いければ、芝生広場でこの会をしたらどうかと考えていました。

それから、新宮の有名な和菓子があるが、最初は道端で小さな屋台みたいなもので手売りをしていたと聞いている。それが、今はお土産の No.1 となっている。新居浜も何とか、名物を作って、ここでも販売してもらいたい。

(委員)

カフェはやはり 1 階が良いと思います。ゆらぎの森に行ったときに新緑の中で、香りの良いコーヒーを飲んでのんびりした。山からここまで続いて、物語になればいい。

(委員)

美味しいコーヒー、美味しいお茶を飲んで、そこに名物の甘味があるようなもので良いと思う。ランチとかはなくても、お庭を見ながらこのようなものがあればほっこりできる。それであっても、小さな厨房施設は必要になると思います。また、これまでのトイレの議論にもあったが、カフェスペースができるのであれば、西棟の中にはトイレは必要だと感じます。

(委員)

硝子細工などの体験工房のスペースを確保し、運営は市民活動している方を募集するなど、体験で時間をつぶしてもらおう空間もあっても良いと思っています。

(委員)

これまでに皆さんから良い意見がたくさん出て、これからいかに実現できる仕組みを造るかというところです。マイントピア別子との連動性で管理人を置く部屋なども含め、ガイドの養成はもう少し力を入れてほしい。案内してほしいときに、どこへ連絡したら良いかなど、仕組み、体制づくりを皆さんで意見を出し合って、実現できるようになればと思っています。

(事務局)

仕組みづくり、体制作りをどうするか、管理運営をどうするかというのは、この配置計画と同等以上に大事なことだと考えています。委員長が前に言われたように、季節的な人の動きをとらえるなら、連絡体制もありマイントピア別子ではないかと思います。

管理人一人に任せるということはおそらくできない。観光バスが入り 20 人、30 人の団体が見て回るなら、ガイドさんも複数いると思います。管理体制は組織的なもので、ある程度産業遺産も熟知しているようなところで考えていく必要があります。この場で管理

体制の限定はできませんが、そういったところを視野に入れながら仕組みづくりを考えなければならぬと考えています。

(委員長)

ここを使って、別子銅山の歴史を詳しく知りたいときに、人数は多くなくても、アドバイザーがいて、話ができる部屋があり、塾形式で活用ができるようになれば良いと考えています。

(事務局)

西洋社宅の1階では東西約900m、南北約200mの18haの社宅全体と、2戸一の社宅などのジオラマの展示などを考えております。星越惣開地区は、別子銅山の町から工業都市新居浜への都市で、星越山を中心に大正14年に選鉱場ができたときに小学校、病院などインフラが整備されていきますが、そういった星越惣開の空間の資料館として、この2階に考えています。その横には今委員長が言われた用途に使用できる研修室を予定しています。

(委員)

ボランティアガイドの養成講座は毎年2、3人受け、今年は3人入ったが、なかなか増えない。

(委員)

山田社宅を楽しむ会のようなものを作って、そういう中からガイドをしていただくような組織を作っていく必要がある。

(委員長)

別子銅山を本当に勉強したい人が集まって、そういう人のためにこの社宅内に研修する部屋があればと思います。

(委員)

これまでもここで講座も開いたり、何人か集まって庭の草刈りをしたり、また、地域の女性の方が応接間の椅子のカバーを洗濯してくれたりした。他の観光地でも、団体関わって、案内を行っている。そういった団体の活動が停滞している。そういった仕組みを作って、この地域を盛り上げようとする団体のようなものを立ち上げていく必要がある。

(委員長)

ここは市で予約をすれば借りることができるにも関わらず、ほとんど借りられることはなかったので、もう少し盛り上げる体制にして、活用してもらえればと思います。

(事務局)

これまでも借りたい方はいましたが、駐車場の問題が大きかったと思います。離れた場所へ止め、そこから徒歩で歩いてくる必要があった。駐車場の関係で、借りたくても借りることができなかったと思います。

(委員長)

他に意見がないようですので、本日皆様からいただきましたご意見等も踏まえ、このような活用、管理方法(案)として進めていくということで、皆さんご了承いただけますか。

(委員)

了承

(委員長)

次に、このエリア内の駐車場、東屋、トイレ等の設置(案)について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

これまでの皆様からのご意見、ご要望等を図面に入れてみました。

駐車場スペースの生垣についてはすべて撤去するという(案)に対し、ある程度残す必要があるというご意見をいただきましたが、駐車場から住友金属鉦山別子事業所所長宅や住友化学愛媛工場宅に移動する際に車両から歩行者が、また、歩行者から車両がある程度確認できるように安全性を確保する必要があることから、この南面の一部は生垣を残し、他の部分は撤去するレイアウトで考えてみました。

駐車場は、普通車40台、大型バス3台程度とし、大型バスは駐車場の北側に駐車するイメージです。入口は全3か所とし、大型バスは対向車が確認しやすい南側から入り、帰りは東側から左折のみで出る動線を考えております。

トイレについては、建物の景観に支障のないように端に身障者用のものを含むトイレを設置し、東屋とサイクリング基地は西洋社宅の西棟敷地内に設置しております。

これはあくまでレイアウト(案)でございます。

(委員長)

ただいま、事務局から駐車場、東屋、トイレ等(案)の説明がありましたが、皆さんのご質問、ご意見を伺います。

(委員長)

西洋社宅南側(駐車場予定地との間)にある生垣も撤去するのか。撤去してしまうと景観が悪いような気がするので、そのままの方が良い。

(事務局)

歩道に沿って歩いていただき、写真を撮る場合は西洋社宅の敷地内に入って撮ってもらえ

ば良いので、ここの生垣はそのままにしておきます。

(委員)

大型バスは、南面の方が良い。北面に置くと、西洋社宅西棟、東棟の景観が悪くなる。駐車場の南西面で、南北にかつバックで縦に入れてもらえば良いのでは。

(委員長)

バックで駐車できるので、その方が良いと思う。

(委員)

トイレは施設内にもあるのか。

(事務局)

トイレを置くと手洗いから水回りが必要で、先ほどご意見をいただきましたように、西洋社宅内に簡易カフェを設置するならトレイもここに必要で、また、管理人、事務室を置くなれば、トイレも必要となるので、西洋社宅の中で考えていきたい。住友金属鉾山別子事業所所長宅と住友化学愛媛工場長宅のトイレは設置しない方向で考えていきたい。

この配置で決定ではなく、このようなレイアウト(案)で進めていきたいと思っています。

(委員長)

他に意見がないようですので、本日皆様からいただきましたご意見等も踏まえ、このような活用、管理方法(案)として進めていくということで、皆さんご了承いただけますか。

(委員)

了承

(委員長)

次に、現在行われている工事の進捗状況等について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

工事の進捗状況ですが、平成29年度から30年度(工期3月から6月末)にかけ、住友金属鉾山別子事業所所長宅は既に工事を行っており、平成30年度(工期7月中旬から10月初旬)住友化学愛媛工場宅等の整備を行う予定です。

工事の内容については、耐震補強工事として、瓦の葺き替え、補強壁等で、天井、壁等の雨漏り等の応急的なもので、展示など消防法の関係はこの中には入っておらず、保存活用計画の策定後となります。

住友金属鉾山別子事業所所長宅の現在の進捗状況は、屋根については、瓦をすべて下ろし、1枚1枚打音検査を行いました。全部で7000枚ほどありましたが、使えるのはそ



のうちの3割弱でした。野地板も張りなおして、それを葺き替えております。使える瓦については、応接棟の屋根にまとめます。他の部分は焼き直した瓦とし、南側の庇の部分は何年か前に住友金属鉱山の方でやり替えていますので、ここは現状のままとします。

屋根と同時に広縁、畳の部屋ですが、何とか壁を入れずに設計していただきました。見えないところで補強の処理をします。床については傷んでいるところは直し、畳は全部入れ替えます。

現在、このような状況で進んでおります。

(委員長)

ただいま、事務局から工事の進捗状況について説明がありましたが、ご質問、ご意見を伺います。ないようでしたら、次の議題の今後のスケジュール等について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

先程も説明しましたが、現在、住友金属鉱山別子事業所所長宅の耐震補強工事に取りかかっており、今年度から住友化学愛媛工場長宅等の工事に取りかかる予定です。

また、今年度は、この2棟に西洋社宅2棟と既に寄贈をいただいている住友共同電力の社宅2棟、また、このエリアの真ん中にある駐車敷地を含む全体の保存活用計画を策定するため、第1回目の山田社宅保存活用計画策定委員会を開催しました。委員長は住友史料館の末岡照啓副館長です。本会で皆様からいただきましたご意見等をたたき台とし、検討いただくことにしており、この中で、全体の展示計画、設備機器やトイレ、東屋、駐車場等も含め協議していただくものです。年4回程度開催する予定で、今年度末を目途に保存活用計画を策定したいと考えております。

31年度以降は、予算の関係もありますがこの保存活用計画に基づく実施設計を行い、32年度以降で西洋社宅の耐震補強、展示工事、周辺整備工事等をすすめていく予定です。

また、市議会の関係では、5月15日に地方創生特別委員会があり、午前中に皆さんからいただいた内容を説明し、午後から現地を視察しました。

本日皆様にご了承いただきました内容を含め、たたき台としてすすめてまいりたいと考えております。

次回の会議については、第2回目の保存活用計画策定委員会を6月末頃に予定しておりますので、その後、7月末から8月にかけて開催したいと思います。日程については後日連絡をさせていただきます。

(委員長)

以上で本日の会議を終了します。